岡山県立岡山芳泉高等学校

人間的成長を育む社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

・他者を思いやる心（気配り・心配り）
・自分の活動が人のため、社会のためになっているという思い＝自己有用感

■活動内容

８月に芳泉小学校の生徒、７月と 11 月には芳泉中学校の生徒を対象に学習支援を行った。８月の学習支援は、芳泉高校を会場に小学生の「夏休みの宿題」の学習補助を教員志望の生徒を中心に実施した。生徒１人が１or２名の児童を担当し約２時間実施した。昨年度の反省を生かし、本校生徒も名札を身に着けアイスブレイクを導入し、和やかな雰囲気を作ることから取り組んだ。７月と 11 月の学習支援は、隣接する岡山市立南公民館を会場に芳泉中学校の生徒対象に約１時間 30 分実施した。参加人数はやや少なめであったが、事前準備もしっかり行い、小学校とは異なりレベルの高い学習に悪戦苦闘しながらも、参加者が協力し合いながら支援していた。

■成果・効果

参加者は教員志望者が中心であるが、自分の思いを他者に伝達することが苦手な生徒が多く、当初は恥ずかしさからスムーズな会話が取れずに戸惑っていた。ただ、時間がたつにつれ打ち解けた雰囲気が築かれ、真摯に学習活動に取り組む姿が各所で見受けられるようになった。活動後、参加児童・生徒から「内容がわかりやすかった」「親切で優しく対応してくれ楽しかった」と感想を伝えられ、大きな達成感や充実感、来年もぜひやりたい気持ちを強く抱くようになった。２つの活動に共通する点として、参加生徒は活動を通じて達成感以外にも、責任感や他者とのかかわりの中から自分自身の存在感（有用感）を感じ取った。この経験は他の生徒にも広がりを見せ、他の中学校での学習会参加を申し出る生徒も現れた。学習ボランティアのみならず、自ら積極的・主体的に経験・体験を積もうという姿勢の輪が広がった。

８月学習会（小学生対象）



11 月学習会（中学生対象）



岡山県立岡山城東高等学校

地域に根ざした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

自主的・自律的な成長を促し社会の構成員としての自覚を持たせるとともに、自己肯定感を高めさせ、自己探求や自己実現を図る能力や態度を育成する。

■活動内容

①小学生学習支援ボランティア（ジョトスタ）

教育学系の大学や職種に興味を持つ城東生１～２年次生の希望者が、地元地域の小１～６年生を対象にして、２日間実施。延べ 280 名の小学生が参加。夏休みの課題を中心にした学習指導や支援を行った。

②保育園・こども園・幼稚園・小学生との交流会

地元企業の中国銀行東岡山支店と協働で保育園・こども園・幼稚園・小学校と交流を行った。ボール遊び・歌など部活動の特性を活かした交流を行った。岡山大学の出前授業のサポートとして参加した科学実験教室では、理数学類の生徒が参加し、日頃の学びを活かした支援ができた。

■成果・効果

小学生学習ボランティアをはじめ、本校が関わる社会貢献活動が定着し、毎年の恒例ボランティア活動として位置づけられているものが多い。地元企業中国銀行東岡山支店との協働ボランティアは、地元とのつながりを維持していく上で大切なイベントとなりつつある。

①小学生学習支援ボランティア



②科学実験教室の様子



岡山県立西大寺高等学校

小学生への租税教室

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

税について学ぶ以外にも，社会人として活躍するための「実行力」・「積極性・協調性」・「プレゼンテーション力」・「コミュニケーション力」を育むことをねらいとしている。

■活動内容

地元の西大寺法人会（岡山商工会議所・税務署・企業の若手経営者の方々の集まり）が主催している，小学生を対象とした租税教室の講師を高校生が行うという活動。小学校（西大寺小学校・邑久小学校）と連携し，高校生が課題研究の授業で学んできた基礎的な税の知識を法人会が作成している授業の流れをベースに１コマの授業を行っている。小学生が興味を持つ話し方や接し方など高校生の感性でそれぞれのグループ（３～４名）が創意工夫をしている。

■成果・効果

「税の先生は高校生」ということに小学生も楽しみながら学ぶことができている。高校生の中には将来，教師になりたい夢を持っている者もいるため，大変良い経験となっている。授業を行うまでには自分たちだけでなく，法人会の方々と打合せをし，指導や講評を頂くなど異世代との交流の中で，高校という枠を超えた経験を積み，地域への貢献にもつなげることができている。

～〇小学生への租税教室〇～





岡山県立岡山工業高等学校

地域あいさつ運動による社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

「地域あいさつ運動」は、生徒が地域社会と繋がる糸口として実施している活動です。９年目となる今年は平均 100 名程度の生徒が参加しました。生徒の自主性に任せ、事前の希望調査で参加者を募り実施しています。交通補助や地域の方々とあいさつを交わすことで、地域の一員である自覚と礼儀の大切さを身に付けて欲しいと思います。

地域あいさつ運動



■活動内容

伊島小学校、石井小学校と連携して取り組んでいます。毎月 10 日を基準日として計画し、７回実施しました。取組方法は以下の通りです。

＜事前指導＞
- 月初めに担当教員から各クラスへ参加者募集を呼び掛ける。
- 参加希望調査をまとめ、人数を調整する。
- 参加者を招集して注意事項や安全教育について連絡する。

＜実施＞
- ７：４５～８：１５までの約３０分間あいさつ運動を実施する。
- 「さわやかに、礼儀正しく」を心がけてあいさつをする。
- 担当教員を実施場所へ配置して、出欠確認とマナー指導を行う。

＜事後指導＞
- 出欠の確認及び振り返りシートに記入させる。
- キャリアパスポートに記入させる。

■成果・効果
- あいさつを交わすことの「気持ち良さ」を感じられる。
- 自尊感情や自己肯定感を高めることが出来る。
- 異世代間交流を図ることができる。
- 安全教育を実践することができる。

岡山県立東岡山工業高等学校

TokoToko プロジェクト～東工地域学～

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

TokoToko プロジェクト～東工地域学～は、これからの地域を支える人材を育成するため、地域グループと協力し、科学の魅力やものづくりの楽しさを発信するための活動である。

参加した地域の子ども達がものづくりの楽しさを実感し、工業技術への興味・関心を持つことをねらいとしている。また、本校生徒にとっても、地域の子どもたちを指導したり、分かりやすく説明したりする体験を通じ、コミュニケーション能力の向上や社会に出て自立する力を涵養し、地域の一員としての自覚や自信つけさせることが目的である。

■活動内容

出前講座（岡山市立山南学園）
令和６年６月 20 日（木）４年生、９年生　100 名
紙飛行機教室…紙飛行機づくりを通してものづくりの楽しさを伝えた。

出前講座（わくわくＥスクール）
令和６年７月 30 日（火）　小学校１～６年生　38 名
中国電力（株）と岡山県環境文化部と連携して小学生対象のエネルギー・環境教室を実施した。本校からはＥＶカーとゼロハンカーを持参し、説明をおこなった。

出前講座（キッズチャレンジ講座）
令和６年８月５日（月）小学校１～６年生　20 名
液体窒素を使った化学実験教室を実施した。

出前講座（瀬戸内市立邑久中学校）
令和６年 12 月５日（木）　中学２年生　125 名
「立体紙模型」…厚紙を切り出し、正 12 面体の作製をおこなった。
「手作りモーター」…銅線からミニモーターを作製し、動作原理について説明した。

■成果・効果

どの学校でも、児童・生徒は生き生きとして授業体験を行った。本校生徒も主体的に子供達とコミュニケーションを取りながら、教えることを通じて、人に喜んでもらえる嬉しさややりがいを体験することが出来た。

TokoToko プロジェクト
～東工地域学～







岡山県立倉敷青陵高等学校

生徒の自主性を生かした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

自分の時間の提供し、地域社会、とりわけ小学生に対して何が提供できるかを考え、自分の考えを伝える力。異年齢交流や主体的な活動を通じて、相手を思いやり、社会の一員として責任を持って行動できる力。

■活動内容

７月２９日　理科実験教室（小学５，６年生対象）
・ビタミンＣの量を調べよう
・UV レジンと蓄光材料で光るアクセサリー作り

１０月２４日　音楽交流会（小学３，４年生対象）
・楽器とＳＤＧｓ＆オカリナの歴史
・オカリナでドレミファソラシド♪
・青陵高校吹奏楽部によるミニコンサート

１２月１５日　クリスマス交流会（小学１，２年生対象）
・世界のクリスマス
・3D プリンターの紹介とクリスマスツリーデコレイト
・絵本読み聞かせ

■成果・効果

すべての活動は一貫して決められた予算の中で生徒に活動内容を考えさせ、企画・立案させた。

その結果、生徒はより意欲的に活動に取り組む姿勢が見られた。小学生に対する理解を深めようと試行錯誤する姿が見られた。また、生徒が前面に出ることで小学生についても高校生に対する親近感がわき、高評価につながった。

理科実験教室



音楽交流会



岡山県立倉敷天城高等学校

地域に根ざした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

学校内外で様々な人とふれあうことで、豊かな社会性、コミュニケーション能力を身に付ける。

地域に貢献することで、地域社会の一員としての自覚を持ち、社会的規範意識を高める。活動を通じて達成感、自己肯定感を高める。

■活動内容

１年生
・藤戸史跡についての学習及び清掃活動

２年生
・近隣教育施設、特別養護老人ホーム藤戸荘にてふれあい活動

３年生
・学校周辺の清掃活動

有志
・藤戸史跡、近隣教育施設の清掃活動

■成果・効果

１年生
・地域の歴史を学び、背景を知ることで、自校や地域への理解が深まった。
・地域の方とのふれあいを通じて地域社会の一員であるという意識が芽生えた。

２年生
・異年齢交流を通じてコミュニケーション能力が向上し、積極的に人とかかわる態度が育った。
・訪問先の方々のことを考え、事前準備を進め、相手を思いやる心が育った。
・進路を考えるきっかけとなった。

３年生・有志
・清掃活動を通じて地域の方とのかかわりを深めることができた。

地域に根ざした社会貢献活動







岡山県立倉敷古城池高等学校

探究活動を深める小学校への出前講座

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

探究活動をさらに深め、主体性を持って実行することにより、対象者に応じた表現力、プレゼンテーション力を身に付けさせたい。

■活動内容

＜食品ロス削減に関する出前講座＞

令和６年　５月１７日　倉敷市立第一福田小学校
令和６年１０月１１日　倉敷市立第五福田小学校
令和６年１２月　６日　倉敷市立第四福田小学校
令和７年　３月１３日　倉敷市立第二福田小学校

本校の探究活動で食品ロス削減を目指した啓発活動を行っている生徒が、地域の小学校で５年生対象に出前講座を行った。当日は、パワーポイントを用いて食品ロスに関する説明を行った後、クイズや話し合いを行い、楽しみながら理解を深めた。

小学校では、食品ロスについての知識がある児童もいるため、さらに身近な問題として捉えられるよう、ファストフード店やお菓子メーカー、そして、地元団体による食品ロスに関する取り組みなどを紹介した。クイズでは、最初の説明の復習を行い、学習内容が定着できるようにしたり、さらに深められる問題も出題した。

食品ロス削減　出前授業
「世界は一人ひとりの行動で決まる
～ Change the world ～」



■成果・効果

今まで自分たちが探究してきたことを小学生にわかりやすく伝えるために、スライドの文字や写真、図表の大きさや配置など小学生の発達段階を考えながら、昨年度のものをブラッシュアップした。問いかけるような口調で話したり、海外の学校給食の様子の動画を準備して興味を引くよう工夫した。発表を通して、伝えることの難しさを感じたり、伝える立場の人の苦労や気持ちを理解することができた。

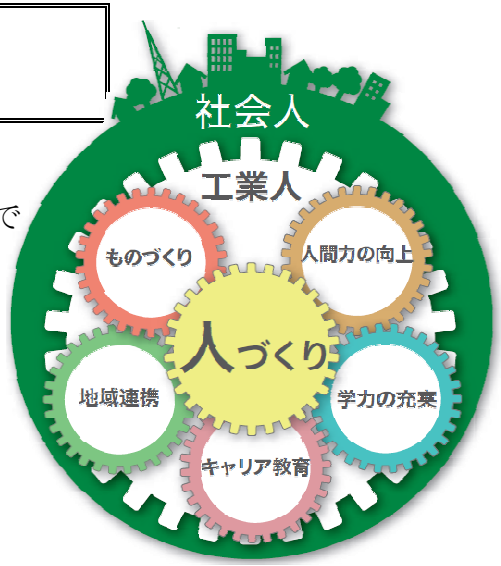
小学生は、真剣に説明を聞いてくれたり、クイズには元気よく答えてくれたり、自分たちにできることについて活発に意見を言ってくれるなど、生徒が想像していたよりはるかに反応がよく、生徒も達成感を感じることができた。講座後の小学生へのアンケートでも、ほとんどの児童が「よくわかった」と答えている。「話がわかりやすくて、クイズが楽しかった」、「知らなかったことがたくさん知れてよかった」、「自分もできることをがんばりたい」という声が多かった。同じ地域の異年齢の児童と高校生が接することにより、よい学び合いができた。

この活動は、先輩から後輩へと受け継ぎ、継続して取り組んでいる。



岡山県立倉敷工業高等学校

モノを創る　ヒトが育つ　～Think　Create　Progress～
倉敷工業高校の社会貢献活動



【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

高校で身につけた技術と技能を活用して地域に貢献する活動を通じて、社会との繋がりの中で地域の情勢や多様な価値観を学びながら、自己肯定感、自己有用感を育んでいます。

■活動内容

地域の小学校の季節ごとのイベントにおいて小学生のキャリア学習の一助となるような、ものづくりやスポーツに関する企画の依頼を受けた時に、イベントの運営に関わる地域の大人たちとの打合せから、自分たちの技術と技能でできることを考え準備し実践しながら、地域に貢献しています。

■成果・効果

地域からの要望や希望を丁寧に聴きとり、専門高校生としての技術と技能を活かしてその要望や希望に応える活動を通じて、課題を発見し解決する能力が育成されています。イベント後にはいつも、小学生とその保護者さらには地域の大人の方たちから、しっかりとした準備とイベント中の立ち居振る舞いについて、お褒めの言葉をいただいています。自分たちの仕事の結果、関わった方々に喜んでいただけることは、充実感とともに更なる成長のエネルギー源になっています。学生時代から、地域社会の中で専門性を活かしながら、パフォーマンスを発揮できるのは工業高校の大きな魅力です。

老松小学校での夏・秋のイベントの様子



岡山県立水島工業高等学校

図書委員会によるイベントの企画・運営

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

社会貢献活動を通じて、社会の構成員としての自覚を持つことで、自己肯定感、自己有用感を育てるとともに、コミュニケーション能力を育成する

■活動内容

令和６年１２月２１日（土）１０：００～１１：３０　倉敷市立船穂図書館

船穂図書館にて、「水島工業高校生のおはなし会と工作」のイベントを開催した。このイベントは、船穂図書館との協働事業で今回が１８回目となる。本校の図書委員の有志が船穂図書館の方と企画し、当日の司会・進行は生徒が担当した。内容としては、絵本の読み聞かせや工作（い草のミサンガ作り）、プレゼント配り等、就学前の親子を対象に、交流をした。

■成果・効果

学校とは違った人や環境の中で企画・打合せ等、協働を通して人とのつながり、その中での自分の役割やチームで成果を挙げることを学び、自身のキャリア形成に大いに役立ったようだ。また、普段接することのない、幼児やその保護者の方々が楽しく、わかりやすく、思い出に残るような企画・運営をすることの、難しさや、楽しさを学んだ。

図書委員会によるイベントの企画・運営







岡山県立津山高等学校

北小テント張りボランティア

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

・自ら参加し、主体性を養う。
・地域の人材と交流し、将来の地域を考える機会とする。

■活動内容

9/24（火）の放課後、本校近くの津山市立北小学校へ、高校２年次生男子約 20 名がボランティアに参加した。

北小では、運動会目前で、参加した生徒がテント張りと机の搬出を手伝った。小学校の先生方からも喜んでいただき、充実したひとときとなった。

■成果・効果

・小学校の先生方にも喜んでいただき、達成感を味わうことができた。
・北小の児童にも声をかけられ、異世代交流を行うことができた。

テント張りの様子



北小の校長先生のごあいさつ



岡山県立玉野高等学校

地域に根差した、次世代育成のための社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

地域清掃活動や各地域団体主催の社会貢献活動を通じて、社会の一員としての自覚を持たせ、環境保全や地域・郷土を愛する心を育むとともに、自己肯定感や道徳的実践力を高める。ボランティア活動や部活動等を通じて小中学生と交流する中で、他者を思いやる心や責任感等を育む。

■活動内容

①築港小学校での各部活動有志による「子ども楽級」交流

・ダンス部、演劇部、ＥＳＳ部等による、地元地域の「子ども楽級」所属の小学生を対象に、各部の特色を活かした活動を通じて交流した。

②築港小学校での体育の授業運営等補助

・学校設定科目「スポーツ探究」選択者が、地元地域の小学生を対象にして、器械体操や球技の授業、陸上競技会に向けての練習の補助や本番日の準備等補助を複数回にわたって行った。

■成果・効果

コロナ禍が緩和され、校内外では様々な活動が行われ、社会貢献活動に励む生徒がコロナ禍前の数に戻りつつある。生徒は様々な取組に対して、非常に充実感を持って行っており、自らの進路とリンクさせながら活動を行っている生徒もいる。「歩いて１分」の近距離好立地の築港小学校との連携を以前より進めているが、今回取り上げた２つの取組以外にも、音楽の授業において小学生との楽器演奏や音楽鑑賞等の取組を行ったり、近隣中学校へ「出前授業」として五教科の教員を中心に行ったりしていることもある。以前から模索している、「生徒による」模擬授業や授業連携等、近距離好立地の小中学校を最大限活用した取組を実現可能なものにできるよう計画していきたい。

①「子ども楽級」での交流



②授業運営等補助



岡山県立玉野光南高等学校

異年齢との交流、他者交流

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

小学生とのふれあい等、異年齢との交流による他者理解を深めること、地域の教育活動に貢献する態度の育成がねらい。

■活動内容

11/2（土）に「はちはま・おおさき子ども楽級」という本校生徒と近隣の小学生との交流事業を行った。生徒会執行部を中心に全体の企画・運営を行い、部活動・委員会で小学生が楽しめる活動を考えた。各小学校 1 年生から 6 年生まで合計約 60 名の児童と、約 50 名の本校生徒が参加した。開会行事終了後、生徒会による本校や玉野市に関わる○×クイズで盛り上がった。その後、学年毎に分かれて、図書委員による「読み聞かせ、折り紙」、コンピューター部による「ゲーム体験」、茶道部による「茶道体験」クッキング部による「お菓子づくり」、サイエンス部による「科学実験」、2 年有志による「クイズ」を行った。それぞれの団体が各自の特色を活かして小学生が楽しめる活動を考え、準備をした。

■成果・効果

始めは小学生のペースに慣れず、戸惑う様子も見られたが、一緒に活動する中で少しずつ対応できるようになり、積極的に小学生とコミュニケーションを取る生徒も増えてきた。交流を通じて、高校生との言動や感じ方の違いに触れ、小学生に対する理解を深めたようだった。本校生徒が小学生の質問に答えたり、できないことを教えてあげたりする中で、地域の教育活動に貢献することができた。

クイズに答える子どもたち



茶道体験



岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

責任感や公共心を持って集団に寄与することによって自己肯定感を高めると共に、社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

９月２７日　西備支援学校との交流事業

１３名が参加した。秋季休業日を利用して西備支援学校を訪れた。小学部の担当になった生徒は、児童と一緒に体操をしたり本を読んだりした。中～高等部の担当になった生徒は、宿泊学習で利用した施設の掃除をしたり、作業学習で使う教材づくりを手伝ったりした。

■成果・効果

子どもたちとのふれ合いに慣れていない生徒が多く、最初は戸惑う様子もみられた。しかし、西備支援学校の先生方がサポートしてくださったり、子どもたちが遊びに誘ってくれたりする中で、次第に緊張も解けて一緒に楽しんで活動をすることができた。どの活動においても、自分なりにできることを探して動くことができ、活動を通して自主性・協働性などの力を伸ばすことができた。活動後、帰り際に「また来てね」と子どもたちに声をかけられて嬉しかったと話していた。子どもたちのサポートをする活動を通して、自己肯定感を高めることもできた。

西備支援学校交流事業
～小学部～



～教材作り～



岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

責任感や公共心を持って集団に寄与することによって自己肯定感を高めると共に、社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

図書委員会の自主的活動として、笠岡認定こども園を訪問しての「読み聞かせ」の交流活動を実施した。１、２年生で学年ごとに１１月と１月の２回訪問した。生徒は放課後を活用し、絵本や紙芝居を各自で選んで練習をし、園児たちに読み聞かせを行った。また、会の前後に手遊びや、折り紙で作った指人形や名札のプレゼントといった企画も行い、園児との交流を図った。

■成果・効果

こども園を訪問するのは初めてという生徒がほとんどで、練習や企画の段階では初めての読み聞かせに緊張する生徒も多かったが、当日園児たちは生徒たちをあたたかく迎えてくれ、読み聞かせを終始楽しく、夢中になって聞いてくれた。園児の反応を直接見ることができ、生徒も自信を持って楽しく活動することができた。また、園児たちが読み聞かせを通じて生徒にたくさん話しかけてくれたことで、日頃小さい子どもと触れ合うことの少ない生徒たちも、園児の目線に立って活発にコミュニケーションを図っていた。

手遊びや生徒からの折り紙のプレゼントも好評をいただき、帰り際には園児たちからお礼の歌のプレゼントを頂戴した。短い時間の訪問ではあったが、直接園児たちと触れ合うことによって自分たちの想いが伝わり、地域社会に貢献できたことを実感できた有意義な機会になった。

読み聞かせの様子





岡山県立笠岡高等学校

社会貢献活動を通して共に成長する

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

責任感や公共心を持って集団に寄与することによって自己肯定感を高めると共に、社会の一員としての自覚を深めさせる。

■活動内容

７月３１日に近隣の小中学生を対象に「千鳥ゼミ」として学習支援を実施した。小学生２５名、中学生１７名の参加があった。本校生徒がボランティアスタッフとして、夏休み課題のわからない問題について解説したり一緒に解いたりすることによって、基礎学力の定着や学力向上のサポートを行った。

■成果・効果

当日はすべての運営・進行を生徒が主体的に行い、地域の教育活動に貢献する態度や責任感を養うことができた。本校生徒は発達段階や対象者の理解度に応じて内容を伝え説明することの難しさを体感する一方、わかりやすく伝えるために必要なことを考え、工夫することにより、表現力やコミュニケーション力など様々な力を身につけることができた。最初は緊張気味であった生徒も、活動するうちにコミュニケーションがうまく取れるようになり、手応えを感じたようである。「子どもが理解してくれたとき嬉しかった」「頑張って準備した甲斐があった。」などの感想が聞かれた。小中高接続プログラムとしての機能を果たすこともでき、有意義な活動となった。

当日の様子
千鳥ゼミ～学習支援～





岡山県立笠岡工業高等学校

笠工テクノ工房　～工業の力で地域に貢献～

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

今年度も「笠工テクノ工房」と称して課題解決学習を基盤とした地域に貢献するための活動を実施した。社会との連携や協働の中で、未来の創り手となるために必要な課題解決力や資質を育み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など、これからの社会で必要不可欠な能力の向上を目指す。

■活動内容

地域からものづくりで解決できる困り事を募集し、３年生の課題研究の授業で取り組む。活動は依頼者への連絡から打ち合わせ、製作、寄贈まで生徒が主体的に行う。

○令和６年度の主な取組

・園庭用ままごとハウス・本棚の製作（認定こども園）
・出前授業におけるトンボの製作（中学校）
・イルミネーションの製作（笠岡駅前・保育園）
・猪捕獲器（箱罠）製作・ドローンによるアマモ場面積の測量・カブトガニ祭りにおける体験ブースおよびクッキー焼印の製作（笠岡市）

■成果・効果

地域の方たちと直接触れ合うことで、課題を解決するための思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度が養うことができた。特に学校園での寄贈式で子どもたちが喜ぶ様子を見ることで、達成感や自己有用感を得ることができ、日頃の学習活動も活性化し、授業により意欲的に取り組むようになった。

また、笠岡市内県立３校による取り組みで、カブトガニ祭りにおけるクッキーの製作を実施した。（笠岡高－デザイン、笠岡商－クッキーの製作、笠岡工－焼印の製作）

園庭用ままごとハウスの製作
（こども園）



イルミネーションの製作
（笠岡駅前）



３校合同クッキーの製作



岡山県立井原高等学校

サーモンプロジェクト

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

①小学生への学習支援活動を通して、教えることの難しさや喜びを体験し、自らも学ぶ姿勢を身につける。
②ボランティア活動を通して、自己の成長を促す。
③地元の小学生と交流することで、地域社会との連携を図る。

■活動内容

小学生学習支援ボランティア
教育学系の大学や職種に興味を持つ井原高生（普通科・地域生活科）の希望者が指導員となり、地元地域の小学生３～６年生を対象として、夏休みの課題等の支援を２日間行った。内容は小学生が困り感を持っている科学研究・作文・絵画を中心に指導した。事前に小学校で、指導のポイントやアドバイスの方法等の研修を行い、実施した。

■成果・効果

最初はお互いが緊張していたものの、すぐに打ち解け合い、小学生は生き生きと活動していた。地域の小学生との交流を通して、大人としての関わり方や、その役割や責任の重さを体験することができた。小学生の活動の様子を見たり、質問に答えたりすることで、参加生徒の自己肯定感が高まるとともに、教育分野へ興味・関心を持った生徒も現れたことから、この取組が生徒のキャリア教育に繋がったと考えられる。昨年度は初年度であり、小学校の主幹教諭から指導方法などをレクチャーしていただいたが、今年度は、昨年度参加した生徒が新規生徒へレクチャーをすることで、生徒は互いに体験を昇華し、進化させることができた。

学習支援（アイデア貯金箱作成）



全員で集合写真



岡山県立井原高等学校

『井原デニム』の学びがつながる社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

『郷土を愛し、自ら進んで地域や社会に貢献する力』

○主体的に学ぶ力
○課題を解決する力
○コミュニケーション力
○井原を愛する心

■活動内容

○H23 年度から井原市と連携し「綿プロジェクト」に取り組んでいる。収穫した綿は、デニム生地へ加工され、市内デニム関連企業が中心となり、「ハートフルデニムバッグ」という手提げ鞄を制作し、市内小学校一年生へ入学御祝品として贈呈している。本校の地域生活科ヒューマンライフコースの生徒も、「ハートフルデニムバッグ」の縫製に参加している。

【綿の栽培交流（井原市商工会議所）】

・芳井町与井の圃場にて、綿の栽培に取り組んだ。播種と収穫を井原市役所や井原市商工会議所、繊維産業の方と一緒に実施出来た。周年の栽培管理は地域生活科グリーンライフコースの生徒が行った。

【交流学習（高屋小学校・西江原小学校）】

・綿を栽培している小学生に対して、綿の活用について交流学習を実施した。綿の糸くり体験や、デニムを活用した鉢カバー作り体験を実施した。また、オンラインで、本校における井原デニムに関する取り組み内容を紹介した。

■成果・効果

○小学生との交流では、綿の栽培や活用について伝えることができた。特に綿の糸くり体験や小物作りなどは、小学生の興味関心を高められる体験内容を行うことができた。

○井原市商工会議所が実施する「デニムの日」に関連した行事に参加した。「デニムの日」を盛り上げるためにできることを企画・立案し、製作に取り組んだ。ワタガラやデニムを活用したフォトフレームやリース、フォトスポットなどを展示した。これらの活動により、地域理解を深め、郷土愛を育てることができ、地域で活躍されている方に地域貢献活動への取り組みを評価され達成感を得ることができた。

綿の栽培交流



小学生との交流学習



「ハートフルデニムバッグ」の縫製



岡山県立総社南高等学校

英語×スポーツで生徒を伸ばす社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

野球の普及および技量のレベルアップを図るとともに、英語を学び世界に挑戦するグローバル人材の育成を目指す。夢見る力や困難を乗り越える力、努力する習慣を身に付けることを理念としている。

■活動内容

小・中・義務教育学校を対象とした学習教室「Let’s study with ジャミ生（国際系主催）」における令和６年度第５回目の取組。第１回目～第４回目までは英語教室を開催したが、第５回目は本校英語教員によって英語を交えて総社市の中学生６０名を対象に、講演と野球指導を行った。スポーツを通じて世界に挑戦する人材育成を目指すというコンセプトをもとに、本校の生徒が講演の助手、指導の通訳や案内役として参加しての取組となった。

	実施内容	教員・生徒の動き
第１部　講演「英語を学んでメジャーリーグを目指そう」60分	海外挑戦の重要性を訴える講演。最後に中学生はメジャー球団への入団を想定し英語で模擬記者会見を行った。	高校生が中学生に英語を指導。高校の教員と中学校の教員は机間指導を行う。
第２部　野球教室「ホンモノの技術に触れてメジャーリーガーになろう」180分	守備・打撃の技術指導を英語で行う。指導方法も文化によって異なることを学ぶ。	高校生は技術指導する高校や中学校の英語教員の通訳や声掛けを英語で行う。

■成果・効果

野球をしながら英語を学ぶことで、机上の学習とは異なるスポーツ特有の表現を学ぶなど「生きた英語」を身につけコミュニケーション力の向上が感じられた。海外のスポーツ文化に興味を持ち、世界とのつながりを意識しやすくなった。「英語を使って何かを成し遂げた」という成功体験が積め、将来的にスポーツ留学や海外チームへの挑戦も選択肢として考えられた。最終的に「グローバルに活躍できる自分」という自己認識が育った。

野球教室の様子（ALT も参加）



捕球練習（個人ドリル）



岡山県立高梁城南高等学校

専門性を生かした地域貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

地域に貢献する態度の育成と学習活動の深化や非認知能力、コミュニケーション能力及び自己肯定感の向上を図る。

■活動内容

・地域小学校生を対象にした高校生によるプログラミング講習会（小学５年生対象）
・地域保育園と高校生によるふれあい交流会。

■成果・効果

本校では、年次進行で地域とともに歩み、交換するカリキュラムが組まれている。また、それぞれの学科が特性を生かしながら意欲的に地域に貢献しようと努め、生徒達も地域に社会貢献できている実感が体得できたのではないかと思われる。

小学生とのプログラミング学習会



保育園児とのふれあい交流会



岡山県立邑久高等学校

専門性や特性を生かした社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

地域と連携し、地域の活性化を図るための課題解決能力や主体性

■活動内容

・瀬戸内市こどもひろばと連携した遊びのサポート。ストラックアウト、おままごと、電車ごっこなどの子どもが楽しめるおもちゃを制作した。
・同じ道具やおもちゃでも成長段階によって遊び方やできることが発展していくことから、個々の子どもによって遊び方を変える工夫をした。

■成果・効果

・様々な年齢の子どもたちの様子や、子どもたちとの関わり方について学んだ。
・地域の中での自分たちの役割を認識し、今後の活動の課題を得た。

専門性や特性を生かした社会貢献活動





岡山県立勝山高等学校（蒜山校地）

地域の自然環境（草原）を保全するための社会貢献活動

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

・蒜山の自然環境（＝草原）を維持することの意義を理解し、実践を通じて知識を深める。
・中学生とともに環境教育について学び、今後の蒜山地域はどうあるべきなのか、主体的に取り組み、「地域社会のミライ」について表現しようとする。
・「茅刈り出荷組合」をはじめとした地域の大人とふれあい、多様な他者と協働しようとする意識を高める。

■活動内容

「茅の活用」を通じて、蒜山の草原環境保全と茅の商品化、身近な SDGs の取組について、次世代を担う蒜山校地生及び蒜山中学生が一緒に学ぶことで、本校地の魅力化と蒜山地域の活性化を図る。

〇12 月 6 日（金）

〈鎌の使い方講習会〉8：45～10：30（蒜山熊谷地区茅場）
・「茅刈り出荷組合」の方から、けがをしない安全な姿勢と鎌の扱い方について講義
・実際に茅（ススキ）を刈って感触を確認

〈事前研修会〉10:50～12：30（真庭市立蒜山中学校体育館）
・「蒜山高原の環境について」（茅刈り出荷組合他によるプレゼンテーション）
・チームビルディング（中高生混成の 8 班）
・茅刈りのシミュレーション、まとめ

〈茅刈り体験〉13：40～15：10（蒜山熊谷地区茅場）
・茅刈り出荷組合による現地指導
・各班単位で茅刈り活動、まとめ

■成果・効果

・茅刈り体験を通して、伝統的・人為的な営みが、環境に負荷をかけず、希少な動植物を結果的に保護していることを理解できた。
・地域社会に次世代を担う者として、これからの地域のあり方について考えることができた。
・多様な他者との協働作業を経て、見識を広めることができた。

事前研修会＠蒜山中



茅刈り体験＠熊谷地区



岡山県立勝間田高等学校

FUN　FOREST　２０２４　～美作の森で林業体験～

【取組の概要】

■社会貢献活動によって生徒に身に付けさせたい力

自ら学んでいる学習内容を地域の人々へ伝え発信することで、自らの知識・技術をしっかり深化させるとともに、自ら考え行動する力を身に付けさせたい。また、自己肯定感を育み、豊かな心を養うことを目的としている。

～森林業体験の参加者集合写真～



■活動内容

NPO 岡山と連携して、SAVE　JAPAN プロジェクト森林体験という、岡山県内の小中学生やその家族を対象に本校倉見演習をフィールドにした林業体験を行った。また、今回は清心女子高校の生徒も森林調査の学習のため参加し、昨年より年齢層が幅広い活動となった。このプロジェクトの目的は、地域住民の皆様が環境保全活動に参加するきっかけを作ることである。

＜活動内容＞

①樹木クイズ

②ツリークライミング体験

③森林の植生調査毎木調査（樹冠、樹高、樹種等）

■成果・効果

今回参加された方々の中には昨年も参加していただいた家族もおられ、この活動に興味関心を持ってもらえたと感じている。また参加者の表情には、一生懸命さやワクワク感があらわれ、たくさんの笑顔を拝見することができた。本校生徒による林業指導などでは、参加された皆様にとって林業のすばらしさを身近に感じる良い機会になったと思う。しかしながら、非常に残念ではあるがコロナ渦もありながらの、２年間の活動も今回をもって終了となった。数年間に渡って協力いただいた NPO 岡山様には、大いに感謝申し上げる。来年度は、この経験を今後どのように繋いで生かしていくかを生徒たちと考えていきたい。